

令和7年度 美術科 授業改善推進プラン

大田区立東蒲中学校

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- ・ICTを活用した課題の提出や授業の振り返りを行うことができていた。
- ・生徒同士でのアイデアや意見の共有を積極的に行い、自分の意見を伝えたり、他者の意見を取り入れたりすることができていた。
- ・日常に関連させた題材の中で、生徒が試行錯誤し発想や構想を練る姿が多く見られた。

(2) 課題

- ・制作をすることに苦手意識を持っている生徒も多いため、作品のために構想や発想をすることへの抵抗感があるように見られる。
- ・ICTを活用した課題提出や作品制作の進捗で期限を意識することが難しい生徒がいるため、改めて提出方法の再確認や時間の再設定などを検討したい。

2 授業改善のポイント（観点別）

(1) 第1学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
色の特徴や道具に対して、興味を持っている生徒が多い。一方で、実践との結びつきが難しい生徒もいるため、教員による実演や演習を取り入れていきたい。	発想や構想において、例示教材からイメージを捉えたり、アイデアを複数案考えたりすることで、よりよい作品を制作することに対して、思考させていきたい。	生徒同士の意見交流の機会を取り入れる中で、視覚的にメッセージを残したり、ICTを活用したりしてより多くの生徒同士が交流できる場を作りたい。

(2) 第2学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
授業の目標や狙いを明確化し、道具や材料、技法の特性や使い方などの知識を定着させて、制作で実感させていきたい。	発想や構想を練ることや苦手意識のある生徒が多い。例示教材やワークシートの活用、生徒が自らICT等を利用して調べることができる時間を設けたい。	生徒がお互いの作品に興味を持っている様子が多く見られる。生徒同士の制作の過程での中間意見交流の機会を増やし、生徒同士での刺激の共有をさせていきたい。

(3) 第3学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
授業でのポイントを押さえた実演をできる生徒が増えている。ICT機器を活用した実演や実物を活用し、より効果的な指導を行いたい。	発想や構想において、十分な例示教材を提示したり、ワークシートを活用したりする中で、自己の表現を高めたい。	ポートフォリオの提出や作品制作の期限への見通しの意識が高まっている。生徒同士の意見交流を広い範囲で行うことで、学習意識を高めていきたい。